

2014 年 JUMP 全体報告書

【挨拶】

2014年 JUMP へご参加ありがとうございました。この全体報告書は参加してもらいました各団体の実施状況や計画内容等を共有してもらうために作成しました。参加団体の皆様には他の団体との交流や次年度への計画の参考にしてもらいたいと思います。次年度以降の JUMP の参加を心待ちにしております。

鳥取環境大学学生 ISO 委員会委員長

【目次】

- 岩手大学環境マネジメント学生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・3~6
- 工学院大学環境 ISO 学生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 島根大学清掃に学ぶ会・・・・・・・・・・・・・・・・・・8~11
- 信州大学松本キャンパス環境 ISO 学生委員会、・・・・・・・・・・12~13
- 信州大学工学部環境 ISO 学生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・14~16
- 鳥取環境大学学生 ISO 委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・17~19

※信州大学農学部環境 ISO 学生委員会東京都市大学 ISO 学生委員会は雨天の為、中止となりましたので報告書はありません。

2014年 JUMP 報告書

代表者：小野慎悟

参加団体名：岩手大学環境マネジメント学生委員会

◆清掃概要◆

【日時】：2014年7月5日9時30分～12時45分

【参加者数】：36人（連携団体も含む）

【清掃場所】：岩手大学構内（以下にルート*を記載）



(赤・黄・青・緑・紫の色毎にそれぞれ班になりごみ拾い)

◆集めたごみの総量と種類別**の重量◆

(参考) **種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

- ・総量：18kg

【詳細】(例)

- ・可燃ごみ：5.9kg
- ・不燃ごみ：12.1kg
- ・カン：19本
- ・ビン：3本
- ・ペットボトル：16本

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

(良かった点)

- ・早い時期から準備に動いていたため、物品の準備に不備はなかった。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・メンバーの把握が期日ギリギリになっていた。

【広報戦略】

(良かった点)

- ・当委員会のメンバーにはメーリングリスト、定例会での広報を行い広くイベントの周知を行うことができた。
- ・生協学生委員会には直接委員会室へ出向き、企画書を渡すとともに広報をした。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・環境サークルリユースに対しては、かけ持ちをしているメンバーに対してメーリスを流すようお願いするにとどまっただけだった。そのためか一番参加者が少なかった。

【当日運営】

(良かった点)

- ・当日、大きなスケジュールの遅延等は無く問題なく終了した。
- ・ごみ拾いは5チームに分かれて行ったのだが、5チームに最低一人は、ごみ拾いが終わってからJUMPするまでの間の流れを把握させておいたので、要領よく進めることができた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ JUMP の際の場所をきちんと決めていなかったのと、人数が多かったため写真撮影の際少し戸惑ってしまった

【事後処理】

- ・ 拾ったごみは分別し、ごみストッカーという岩手大学のごみの集積場所に捨てた。

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

今回、JUMP に参加し、全国のネットワークというものを感じることができた。それに加え今年は近いネットワークの強化として岩手大学全学環境ネットワークでのごみ拾いを決行することができた。今後もこれらのネットワークを駆使していきたい。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

JUMP が七夕付近に開催されることから、開催日を予想して他団体への広報を前もってしていました。学生 ISO 委員会様の準備の兼ね合いもあると思いますが、もし可能であれば早めにメールでお知らせいただけると幸いです。

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆





ご協力ありがとうございました
鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

学外清掃 JUMP 報告書

工学院大学 I 部環境 ISO 学生委員会

金丸 峻也

実施団体：工学院大学 I 部環境 ISO 学生委員会

内 容：地域清掃活動

目 的：JUMP での清掃活動を通し、他大学との交流及び工学院大学周辺の地域を清掃することにより参加者の環境意識の向上を目的とする。

準備期間：2014 年 6 月 23(月)～2013 年 7 月 4 日(金)

実施日時：2014 年 7 月 5 日

実施状況：実施当日、清掃する地域が雨天だったため中止。

7:30 に中止の判断。

反省点

- ・ 宣伝用のポスター制作できていなかった。
- ・ 企画書上にてしっかりとした中止についての記載をしていなかった。
- ・ 参加人数の確保が出来なかった。

改善方法

企画段階からのしっかりとした計画作りをする。

大学内での他団体への参加の促しをする。

昨年度に引き続きまして JUMP の企画に参加させていただきありがとうございました。

しかしながら今年度はあいにくの雨のため中止にさせていただきました。

昨年度と比べて準備が少し遅くなってしまい企画段階から準備不足が目立ってしまいました。今回の反省を活かして工学院大学の環境活動をより良い物にしていきたいと思います。

今回は企画にお招きいただきありがとうございました。また機会がありましたらよろしくお願いいたします。

工学院大学 I 部環境 ISO 学生委員会

副委員長 金丸 峻也

2014年 JUMP 報告書

代表者：藤井 春菜

参加団体名：島大清掃に学ぶ会

◆清掃概要◆

【日時】： 2014年7月5日 10時00分～12時30分

【参加者数】：8人（連携団体も含む）（他先生1名、記者2名）

【清掃場所】：宍道湖湖岸（以下にルートに記載）



赤丸の市役所から出発し、宍道湖湖岸でゴミ清掃を行った。

◆集めたごみの総量と種類別の重量◆

総量 : 56kg

燃えるごみ : 8kg

藻 : 48kg

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

（良かった点）

- 先生がサポートについてくださったため、授業での告知も行いやすかった。
- 熱中症対策用の水分や火ばさみ、軍手の準備も事前に当日のタイムスケジュールを立て、確実に進めることが出来た。

（悪かった点・次回への改善点）

- 事前に清掃場所の確認をしておらず、さらに市内ゴミ清掃が行われた後だったので、ゴミがある場所がかなり限られてしまった。

- 事前調査を行い、地域の清掃活動なども考慮する。
- 準備段階の途中で、大学から宍道湖湖岸までのバスの手配が出来ていないことに気づき、集合場所が宍道湖湖岸に変更した。それによって、連絡先を知らない参加者のために、当日二つの集合場所で待機する必要があったこと。
- 日ごろから、ごみ清掃に参加している人の連絡先を把握できていなかったこと。
 - イベントの告知や変更(雨天の中止、集合場所など)を伝えるためにも、連絡先の把握は必要。連絡先は必ず聞くようにする。
- 周知を始めるのが遅く、人数が集まらなかった。
- 効果的な周知方法をあらかじめ練っておき、余裕をもって告知を行う。
 - Facebook や Line、授業での告知、学内でのポスター掲示など

【広報戦略】

(良かった点)

- 2週間ほど前から、仲の良い知人やゴミ拾いのメンバーには告知が出来た。

(悪かった点・次回への改善点)

- 一般の人も呼びたいと考え、Facebook でイベントを作成したが、3日ほど前だったため、あまり効果がなかった。
 - 参加を呼びかける対象も、事前にはっきりさせておくべきだった。
- 全学掲示板(多くの人が見る)での告知を行わなかった。
- 授業やサークルなどでの告知は1週間で切ってから行ったため、予定が入っている人も多かった。
 - 2週間以上前にどの授業を回るのか、チラシはいつ掲示するかなどの予定表を作成し、2週間前、遅くとも1週間前には告知を行うべきだった。

【当日運営】

(良かった点)

- 開始時刻の1時間30分前には集まり、下見、飲み物の準備などが出来ていた。
- 傘をさすまでの雨は降っていなかった。
- ゴミが少なかったことから、終盤ではゴミ拾いではなく藻の回収に力を注ぐなど、臨機応変な対応が出来た。
- 身内だけでなく、複数の団体からの参加があった。
- 新聞記者の方に取材をしていただき、このイベントの存在を広められた。

(悪かった点・次回への改善点)

○連絡先を知らなかったこと、先生との情報共有が出来ていなかったことが原因で集合場所が変更したことで、実質の開始時間が30分ほど遅れてしまった。

→参加者の連絡先の把握と、担当者との情報の共有を確実にを行う。

○ごみ清掃の際のコースを明確に決めていなかったため、各自が自分の好きなところでごみ清掃を行っていたため、時間内に集まれるか、安全かどうかなどを確認できなかった。

→大まかにはコースとエリアを決定し、参加者の連絡先を確実に聞いておく。ある程度の自由は必要。

○12時前から何度かJUMPの練習をしていたため、12時丁度に飛んだぞというイメージが小さかった。

→練習はほどほどに。メリハリはしっかりと付ける。

【事後処理】

○ごみ袋の数や重量を測定した後、事前をお願いをしていた市役所にごみを引き取っていただいた。

◆JUMPを終えてみての感想・反省◆

○最初は変わったイベントだなという印象が強かったが、全国各地で行っていることを知り連帯感を感じる事が出来た。また、他大学の皆さんとも連絡や活動報告など、交流する機会をもちたい。

○イベント開催にあたっては、目的、下調べ、タイムスケジュール、告知を始めとした事前の準備が大切なことを改めて学んだ。特に周知の難しさと連絡先を把握することの重要性はつくづくと感じさせられた。今後のイベント周知の際にも生かしていきたい。

◆今回のJUMPについてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

Line, skypeなどを用いた全国規模のカウントダウンがあれば、参加者にも全国でやっているのだという連帯感が生まれたのではないかと思う。

◆その他 (JUMP時の写真・活動時の写真など) ◆

・中国新聞、読売新聞(7月5日付)掲載



JUNP の写真



藻の回収



ゴミ袋

ご協力ありがとうございました
鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

2014年 JUMP 報告書

代表者：佐藤 媛香，丹下 美咲

参加団体名：信州大学松本キャンパス環境 ISO 学生委員会

◆清掃概要◆

【日時】： 2014年 7月 5日 時 分～ 時 分

※雨天の為、中止

【参加者数】： 人（連携団体も含む）

【清掃場所】：（以下にルート*を記載）

（参考）*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。

◆集めたごみの総量と種類別**の重量◆

（参考）**種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

・総量： kg

【詳細】（例）

・燃えるごみ： kg

・プラスチック： kg

・資源ゴミ： kg

・小型破碎ごみ： kg

・その他： kg（上記以外の区分のごみ、区分外のごみなど）

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

（良かった点）

・

（悪かった点・次回への改善点）

・

【広報戦略】

(良かった点)

- ・メールを使って連絡が迅速にとれた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・特になし

【当日運営】

(良かった点)

- ・LINEによって大学間の清掃活動を確認できた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・中止することになった点

【事後処理】

- ・LINE上で、鳥取環境大学が企画してくださったことに、お礼をした。

◆JUMPを終えてみての感想・反省◆

今回の活動で、各大学との連携が感じられた。松本キャンパスでは、中止となったが、環境への取り組みとして、ゴミ回収を行うことが、各地で楽しそうに行われ、その様子が発信されたのはよかったと思う。

◆今回のJUMPについてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

特にありません。来年も参加したいです。

企画して下さい、ありがとうございました。

◆その他（JUMP時の写真・活動時の写真など）◆

ご協力ありがとうございました
鳥取環境大学 学生ISO委員会

2014 年 JUMP 報告書

代表者：本多 努

参加団体名：信州大学工学部環境 ISO 委員会

◆清掃概要◆

【日時】：2014 年 7 月 5 日 10 時 00 分～13 時 00 分

【参加者数】：9 人（連携団体も含む）

【清掃場所】：（以下にルートに記載）



◆集めたごみの総量と種類別**の重量◆

- ・総量：6.42kg

【詳細】

- ・燃えるごみ： 6.42kg

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

(良かった点)

- ・ゴミ収集において実際に現場に赴いて、ゴミが落ちていると予想される場所に目安を付けられた。
- ・市役所に電話し、ゴミが落ちていると予想される場所を尋ね、JUMPにおける活動地点を広い範囲で模索出来た。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・雨天時の取り決めが少し甘かった。
→どのくらいの雨量で中止にするか明確に決める必要がある。

【広報戦略】

(良かった点)

- ・早い段階で参加者へのメールやLINE等を回せた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・特になし

【当日運営】

(良かった点)

- ・特にトラブルもなくスムーズに進められた。
- ・予想していた以上に多くのゴミが集められた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ゴミが予想より多かったため小型の荷台等を持って行くと良かった。

【事後処理】

- ・ゴミ分別をした結果川辺のゴミはほぼ全て汚れており、全て可燃ゴミとして捨てることにした。

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

今回の JUMP では多くのゴミが集められ尚且つ楽しく行うことが出来ました。多くの団体が参加する連帯感もあり、非常に面白い企画だったと思います。ただ他団体では雨天により残念ながら中止になってしまった場所が多かったため、来年リベンジとしてまた開催出来ることを願っています。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

来年もまた出来ると良いですね。今度は雨が降らないと尚良いです。

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆



2014年 JUMP 報告書

代表者：米田 安祐美

参加団体名：鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

◆清掃概要◆

【日時】：2014年7月5日9時00分～14時00分

【参加者数】：17人（連携団体も含む）

【清掃場所】：鳥取環境大学（以下にルート*を記載）

（参考）*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。



◆集めたごみの総量と種類別**の重量◆

（参考）**種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

・総量：13,5kg

【詳細】（例）

・紙パック：3,1kg

・ペットボトルキャップ：10,4kg

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

(良かった点)

- ・事前に備品の不備を確認できた。
- ・各班に仕事を分配できた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加者へのメール送信確認ができていなかった。
→参加者に対してメールの返信を促す。
- ・雨で清掃が中止だった。
→雨天の場合は中止ではなく希望者と合同で学内清掃などを行う。
- ・当日スケジュールの作成が遅かった
→早い段階での作成をする

【広報戦略】

(良かった点)

- ・参加団体が多かった。
- ・参加者の申し込み方法を変更した。(名簿設置からポスト投函型に)

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加者が少なかった。
→広報の方法や時期を検討する。

【当日運営】

(良かった点)

- ・紙パックやペットボトルキャップを回収できた。
- ・時間通りに JUMP することができた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・JUMP の準備時間が短かった。
→準備時間を延ばす。
- ・委員長がいなかったので仕切る人がいなかった
→代理等を決めておく

【事後処理】

- ・ごみの処理をお願いした鳥取県工整備事務所に雨天中止並びにお礼の電話をした。

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

今年も JUMP も無事終えることができました。今年白兔海岸での清掃を予定していましたが雨天に見舞われ、学内での紙パックやペットボトルキャップの回収に変更いたしました。次年度以降のために雨天時対策や新しい広報方法等を検討していきたい。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆



ご協力ありがとうございました
鳥取環境大学 学生 ISO 委員会